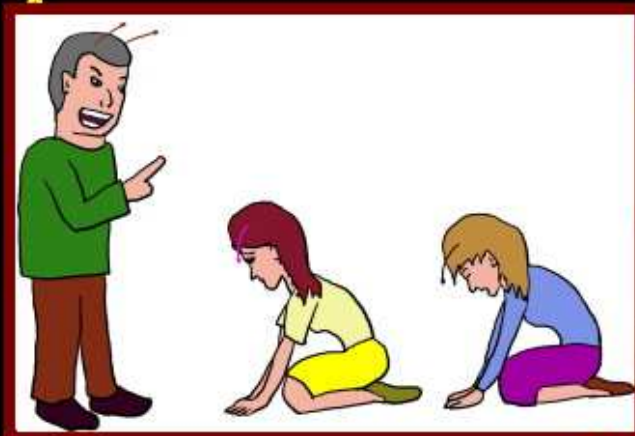


再生產中



東鄉 潤

とある宇宙の星のお話です。その星では、多くの人々が互いを差別し憎み合っていました。



その結果、大勢の人々が傷つき殺されてしまいました。そこで人々は「差別は、許すことの出来ない悪であり、悪人がすることだ」と信じるようになりました。



大勢の人々が、差別という悪と戦うようになったのです。

教育の現場でも、差別は悪だと教えるようになりました。



差別しては絶対に、
いけません。

女の価値は男の半分
女は男の腕から作られた。
女は生まれつき男に従う

ところで、これは
神様のお言葉です。

みんなで、差別に
反対しましょう

同性愛者は神に
呪われている
同性愛者には罰を
与えなければいけない

もちろん、これも
神様の教えです。

差別は決して許されません！

占いをしたり、霊能力を持つ女性は魔女です！

魔女を許してはいけません。

いうまでもなく、神様の教えは、すべて正しいのです

差別は悪です！

私たちが信じる神様と違う神様を信じている人たちは悪魔です！

私たちは差別をしません。悪魔が差別をするのです！！

この星の差別は、まだまだ続くようです。



あとがき 一絵本「再生産中」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013